

編集室

3月に入って暖かさが増した。桜前線の北上はことしは早いかもしれない。

東日本大震災から10年。山梨県北杜市の実相寺にある、樹齢1800～2000年といわれるエドヒガンザクラの「山高神代桜」は、この地と、被災地の岩手県大槌町の縁を結んだ花でもある。この桜が描かれた大槌町立図書館の石版画が津波の海水で洗われ、修復不可能と伝え聞いた作者の日本画家、中島千波さんが震災の翌年、同じ石版画の寄贈を大槌町に申し出たのだ。

「縁があってこそ、それがやがて強い絆になる」。毎年この季節になると、贈呈式での大槌町関係者のその言葉を思い出す。当時、記者だった私は、神代桜のもとで開かれたセレモニーを取材して新聞記事にした。

国天然記念物の神代桜は、樹勢の衰えから枯れ死を宣告されたり、台風で主幹が折れてしまったりと、その姿は一見して痛々しい。それでも咲き続ける生命力が毎年、人を引き寄せている。

多摩キャンパス正門に近い桜広場もピンクに染まると、目にあざやかだ。これを書いている3月19日に幹を見上げたが、わずかにほころび始めた程度。入学式には、文字通り花を添えてくれるだろうか。



『HAKUMON Chuo』は学業や研究、スポーツ、文化、ボランティアなどの活動に一生懸命に向き合う中大生、大学院生を紹介する大学広報誌です。昨年暮れにWeb版もリニューアルしました。春号は毎年、入学の日に合わせて、新入生を含む学生や保護者の皆さま、卒業生らに配布しています。この春から多摩、後楽園、市ヶ谷、市ヶ谷田町の各キャンパスで研鑽を積む皆さんの入学を心よりお祝いします。

(編集長 北村 豊)

STAFF

◎取材協力

学事部	国際センター
各学部事務室	入学センター
大学院事務室	キャリアセンター
学生部	学友会
ボランティアセンター	経理研究所
中央図書館	学会会 ほか

◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

◎学生記者

齋藤優衣	津田翔
平岡亜美	石井伊蓆
森康太郎	松村吏紗
中村美咲	澤島彩香
山口真歩	西沢美咲 (順不同)

◎制作協力

植田知美 北村美紀(株式会社シー・レップ)
鈴木充(広研印刷株式会社)

NEXT
ISSUE

『HAKUMON Chuo』2021夏号
No.270 7月2日発行予定

学生記者が
総力取材!!

お楽しみに!



2021 春号 No.269

2021(令和3)年4月2日発行

発行 行：中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス：hc-grp@g.chuo-u.ac.jp
編集担当：『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048